

(様式1)

自己評価表

愛媛県立伊予農業高等学校
学校番号(30)

教育方針	徳・知・体の調和のとれた人格の完成をめざし、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした教育の推進 — 豊かな人間力の育成を目指して — 1 自己価値観を確立する。 2 自分の頭で考えることのできる人間を育てる。 3 心の教育を実践する。 4 健康と体力を育む。
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
PTA活動	PTA活動の活性化	・PTA役員の理事会への参加率 76%以上 ・PTA総会の出席率 22%以上	B	・PTA理事会への参加率 78% ・PTA総会出席率 22%	PTA総会の実施のあり方も含めて、より多くの保護者の方が参加しやすい日程や進行方法を検討したい
	保護者への情報発信の充実	・「みずほ通信」のHPへの掲載 100%	A	・HPへの掲載100%	よりわかりやすい情報の発信を心がけていきたい。
学習指導	家庭学習の充実	・1日平均家庭学習時間 調査発表中 100分以上 調査中 180分以上	C	・1日平均家庭学習時間 調査発表中 95分以上 調査中 160分以上	調査発表以外の学習時間の確保のため、進路課、各教科、各学科と連携し、課題等の工夫を検討したい。
	満足感・達成感を味わえる授業の展開	・1か年皆勤者数 60%以上 ・1日当たり欠席率 1%未満	B	・1か年皆勤者数 47%以上 ・1日当たり欠席率 1.09%	生活習慣の確立のため、時間を守る習慣を身に付けさせ、欠席者数の減少に取り組みたい。
	成績優秀者の増加	・成績優秀者 100人以上	B	・成績優秀者 107人	進路目標や高校生活の意義など目的・目標を持つことの大切さを呼びかけたい。
生徒指導	規範意識の向上と個に応じた指導の充実	・身だしなみ再指導生徒 16%以下 ・中途退学生徒 0名 ・特別指導生徒 0名	B	・身だしなみ再指導生徒 10.4% ・中途退学生徒 3名 ・特別指導生徒 1名	中途退学生徒がでないよう魅力ある学校づくりの推進及び生徒個々とのコミュニケーションをさらに深めていきたい。
	交通安全指導の充実	・教職員による街頭指導や安全通学委員による交通安全啓発運動により、交通道德を身に付けさせ、交通事故・違反0件を目指す。	C	・交通事故 23件 ・教職員及びPTAの方による街頭交通指導や安全通学委員による主体的な交通安全啓発運動を行った。	自転車通学生徒による交通事故がなくなるよう、さらに声掛けを行っていきたい。また、地域、関係機関との連携を密にしていきたい。
進路指導	自己実現の達成	・第一希望校への入学 100% ・第一希望職種への就職 100%	C	・第一希望校への入学 82.0% ・第一希望職種への就職 96.9%	就職に関しては昨年同様、内定率が高かったが、特定の職種については選考対策の強化を図りたい。進学に関しては、フューチャー制の効果が高まるよう、フューチャー教員・進路課や生徒の円滑な連携について検討したい。
	生き方へのこだわり	『伊予農での学び』を生かした進路実現 ・関連分野への進学者 50人以上 ・関連産業への就職率 30%以上	B	・関連分野への進学者 59人 ・関連産業への就職率 49.5%	就職に関しては、関連分野で活躍しようという生徒が更に増えるよう指導・助言に努めたい。進学に関しては、志望校の安易な選択にならないよう「学び」のモチベーションを高める進路指導に努めたい。
特別活動	部活動の活性化による体力・気力のあるたくましい人間の育成	・部活動加入率 95%以上 ・県総体出場生徒数 130名以上 ・高文祭参加生徒数 60名以上	B	・部活動加入率 94.3% ・県総体出場生徒数 148名 ・高文祭参加生徒数 68名	運動部の競技力向上と、えひめ国体でのライフル射撃部の入賞を目指しより一層強化を推進する。また、文化部の活性化と高文祭参加生徒数増加に努める。ボランティア活動とあいさつ運動の積極的な参加を生徒会中心として呼びかけていく。
読書指導	図書館利用の拡大	・生徒一人当たりの図書貸出冊数 6冊以上 ・一日当たりの図書館利用生徒数40人以上	C	・生徒一人当たりの図書貸出冊数 6冊 ・一日当たりの図書館利用生徒数 59人	・授業で活用できる図書の充実を図る。 ・図書委員会において一般生徒の参加を募る活動を工夫し、図書館に親しませる一助とする。 ・校内外の研修を教職員に周知徹底し、参加を呼びかける。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
情報教育	情報モラルの充実と情報モラル教育の徹底及びセキュリティの保守管理とホームページの適切な管理・更新	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセスとウイルス感染 0件 校内ネットワークの整備と点検 常時 データ(個人情報)の流出・漏洩 0件 情報の機密性、完全性、可用性の維持100% ホームページの管理・更新 週5回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセスとウイルス感染 0件 校内ネットワークの整備と点検 常時 データ(個人情報)の流出・漏洩 0件 情報の機密性、完全性、可用性の維持100% ホームページの管理・更新 週5回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい校内LANシステムの構築と保守・管理 情報セキュリティ機能の改善と個人情報保護の注意喚起 個々のICT活用におけるスキルアップを目指した研修等の実施
厚生管理	快適で心豊かな学校生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の開催 年1回 衛生委員会の開催 毎月1回 保健だよりの発行 毎月1回 トイレの点検 毎月2回 清掃道具の点検 每学期1回 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会の開催 年1回 衛生委員会の開催 毎月1回 保健だよりの発行 毎月1回 トイレの点検 毎月2回 清掃道具の点検 每学期1回 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会では、主体的に心身の健康の保持増進を図ることができる生徒の育成に努めたい。 健康に関する情報を定期的に提供し、心身の自己管理に生かして心と体の健康づくりを推進していく。 校内の美化活動にも積極的に取り組んでいきたい。
	安心・安全な生活に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 年3回 救命救急講習会の参加 2年に1回以上 学校安全委員会の開催 年2回 	B	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 年3回 救命救急講習会の参加 2年に1回以上 学校安全委員会の開催 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練では、より実践的な行動力を身に付けさせるための工夫をしていきたい。 救命救急講習会では、できるだけ多くの生徒や教職員が参加するように呼びかけていきたい。 学校安全については、施設管理責任者の定期的な安全点検を通して早めの対応をしていきたい。
人権・同和教育	人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 伊予市人権ポスター入選 1名以上 伊予市人権作文入選 1名以上 伊予市人権標語入選 3名以上 校内人権作文の提出 100% 校内人権標語の提出 100% 愛媛県人権ポスターの提出 2名以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 伊予市人権ポスター入選 1名 伊予市人権作文入選 0名 伊予市人権標語入選 2名 校内人権作文の提出 100% 校内人権標語の提出 100% 愛媛県人権ポスターの提出 1名 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・体罰に関するアンケートを継続的に行い、いじめ防止、早期発見、適切な対応を行う。 人権・同和教育HRを充実させ、人権意識を高め、実践態度を育てる。 広報活動を充実させる。
教育相談	個に応じた教育相談と特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 100%対応 特別支援(発達障害等) 100%対応 巡回相談等の利用 年1回以上実施 校内研修 年1回以上実施 啓発資料の配布 年10回発行 	B	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談 100%対応 特別支援(発達障害等) 100%対応 巡回相談等の利用 なし 校内研修 年1回実施 啓発資料の配布 年9回発行 	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害のある生徒への支援を充実させる。特別教育支援委員会を活用して共通理解を持ち支援方を検討する。 今年度に引き続きスクールライフアドバイザーの協力を得て、生徒・保護者の相談に応じ、健全な学校生活が送れるように支援する。 面接週間で担任が把握した気になる生徒の情報を早い段階で、学年団、生徒課と共有する。
農業教育	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観研究授業参加 年3回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観研究授業参加 3回実施 	<ol style="list-style-type: none"> 今後も生徒の進路実現につながる職業資格・検定の継続的な指導を行う。 今後も農業クラブ活動の充実を図る。 <ol style="list-style-type: none"> ①生徒1人1人に農業クラブ員としての自覚を持たせる。 ②農業クラブ顧問や学科長を中心とした指導体制の強化を図る。 ③教科内での計画的な指導を行う。 今後も地域交流事業等の継続的な取組を行う。 専門技術の向上を目指し、各種コンテスト等に積極的に取り組む。
	農業クラブ及び資格取得の充実	<ul style="list-style-type: none"> 職業資格・検定の取得 年間合格者数 延べ人数1500名以上 地域交流事業及び農業クラブボランティア活動 開催 50回以上 農業クラブ各種発表県大会・各種競技会 全部門・全種目出場、出場者 全員入賞 農業クラブ全国大会農業鑑定競技 全学科入賞 農業クラブ全国大会各種発表会・競技会 全種目出場 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間合格者延べ人数 1512人 地域交流事業及び農業クラブボランティア活動 96回 全部門・全種目に出場 29人入賞 4人入賞(うち1名は最優秀賞) 出場ならず 	
	専門技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加 年3回以上 地域開放講座等の開催 年10回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加 年7回実施 地域開放講座等の開催 年12回実施 	
	農業教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検 年3回以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検 年3回実施 	

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。